



学校だより「杜の子」



市川三郷町立
上野小学校

発行者（文責）
校長 保坂 久信

ふるさとキャリア教育「みさと学」



市川三郷町には「みさと学」という学習があります。町の教育委員会も関わるこの「ふるさとキャリア教育」は、スタートしてから8年目を迎えます。キャリア教育とは、「子供たちが社会の中で自立し、自分らしい生き方や働き方ができるように、必要な力や考え方を育てる教育」のことです。みさと学という名のふるさとキャリア教育は、地域と未来をつなぐ「心の架け橋」のようなものです。

みさと学という名のふるさとキャリア教育は、地域と未来をつなぐ「心の架け橋」のようなものです。

○地域への愛着を育みます

地元の文化や歴史、人とのつながりを学ぶことで、自分のルーツを知る体験になります。将来、地域に貢献したいという思いを育てることにもつながります。

○実践的なキャリア体験です

地元企業や自治体と連携した職場体験、ワークショップなどを通じて、現実の仕事に触れることとなります。このことは、自分の得意分野や興味を見つけるきっかけになります。

○人とのつながりが広がります



地域の大人たちとの交流を通じて、多様な生き方や働き方を知ることができます。進路に悩んだとき、人生のロールモデルを見つけるチャンスにもなります。

○地域活性化にもつながります

子供たちが地域に関心を持つことで、地元の魅力を

再発見し、新たな活力を生むことにつながります。地域行事も盛り上がります。

上野小学校では、次のような計画で「みさと学」に取り組んでいます。

- 1年生：とうもろこし、表門神社、新入生との交流
- 2年生：不動院、薬王寺
- 3年生：歌舞伎公園、マルアイ、セルバ、手話
- 4年生：浄化センター、清掃センター
- 5年生：歌舞伎公園、表門神社、芦川
- 6年生：紙漉、篆刻

ふるさとの景色や地域のみなさまの暮らしが、キャリアの「リアルな教材」になります。子供たちの「みさと学」をぜひ、応援してください。

5年生の林間学校



5年生は、6月24日（火）から1泊2日で、北杜市高根町清里に出かけ、林間学校を楽しみました。目的は、自然を愛する心を養うこと、助け合い協力し合うことを学ぶこと、集団の一員という自覚を高め、規律を守る態度を育てることでした。

絵図を見ながらのハイキング、プラネタリウム、野外炊事、暗闇を歩くナイト追跡、冒険ハイキング、木のスプーンづくりなどのメニューをこなし、学校では体験できない経験を積みました。

○林間学校を終えて…（感想）

＊池谷実優さん：

学級会長としての言葉や「お願いします」「ありがとうございました」という感謝の言葉を伝えられました。ハイクでは、間違えたときに許す心を守って、ゴールすることができました。



＊佐藤瑠海さん：

楽しくできました。一番成長できたのは「協力」だと思います。意見が食い違うこともあったけど、火起こしを手伝ったり、助け合ったりできたからです。

＊大原康平さん：

みんなで作ったカレーは人生最高だと感じると共に、かまどの前で頑張ったやりがいを感じられました。2回おかわりしました。福神漬も美味しかったです。

＊小林沙寧さん：

お友達と言い合いになってしまったけれど、「自分も悪かったな」と思って、許すことにしました。最後まで感謝の気持ちを忘れずに過ごすことができました。

＊諏訪冬龍さん：

楽しかったのは、プラネタリウムの解説をしている人と遭遇して、問題を出し合い仲良くなったことです。「君、解説やってみなよ」とスカウトもされました。

＊丹澤梨菜さん：

楽しかったことは、部屋で、友達といっしょに寝たことです。カードゲームをしたり、話をしたりしました。修学旅行でも生かしたいと思いました。

上野小の一学期が、終わります

4月、ひとつ階段を上った子供たちの一学期が終わります。ずいぶん、成長しました…子供たちが学んだ教室には、その「跡」が確かに刻まれています。



1年生：「きら☆きら」という学級通信に込めた願いの通り、きらきらはです。これからもきっと、「きらっ☆きら」な学年です。



2年生：「にこにこ2年生」という通信名のとおり、野菜作りの成功に「にっこにこ」でした。不動院、薬王寺見学もさせてもらいました。



3年生：「さんさん」と名付けられた通信は3年生。太陽のように燦々と輝いています。歌舞伎公園、セルバ、社会科見学を頑張りました。



4年生：4年生の通信名は「てんさい」です。10歳の節目の年を大切に過ごそうという願いが込められています。一つ一つの学習を丁寧に積み重ねています。



5年生：5年生は常に上向き「サイコー↑」です。クラスのアイドル亀の「亀吉」ともみんな仲良くやっています。



6年生：「切磋琢磨」が通信のタイトルです。考えを交換し合う授業でお互いに刺激し合っています。学校のリーダーとして、楽しむことも大切にしながら、上野小学校生活を楽しんでいます。

「伸びよ 杜の子」～おもうこと～

「アイデンティティ」とは、「自分は何者であるか」という自己認識や自己概念、帰属意識のことである。子供たちが成長し「ふるさと」を離れた



とき、他者との関係性の中で自分は何者？なんてことを考える自分と対峙することがきっとあると思う。

そんな折、アイデンティティという意識が明確であればあるほど、人は、思い切った挑戦が可能になる。安心感や連帯感が土台としてあるからである。そのためにも、今は、子供たちに上野の文化、歴史、習慣を学び、その含意を身にまとしてほしい。

この地のことを武器にすることは、上野の子供たちにしかできない。ここで育ったからこそその強みを自分自身の中に発見するきっかけを、上野小学校の学びが与えられたらと思う。

